

4月1日から子宮頸がん定期予防接種に 9価ワクチン(シルガード9)が追加されました

子宮頸がんは子宮の入り口部分にできるがんです。子宮頸がんの原因のほとんどは、HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染によるものです。日本人では婦人科領域のがんの中で、乳がんに次いで多く、年間約11,000人がかかり、そのうち約2,900人が亡くなっています。

ワクチン接種について

【使用するワクチン】

HPVは100種類以上確認されており、そのうち15種類程度が、がんとの関連を指摘されています。現在、HPVの感染に起因する疾患の予防ワクチンは以下の3種類です。

ワクチンの種類	予防効果のあるHPVの種類	子宮頸がんの原因を 予防できる範囲
サーバリックス	16型、18型(高リスク型)	64.9~71.2%
ガーダシル	16型、18型(高リスク型) 6型、11型(低リスク型)	
シルガード9	16型、18型、31型、33型、45型、52型、58型(高リスク型) 6型、11型(低リスク型)	81.0~90.7%

※高リスク型は子宮頸がんなど、低リスク型は尖圭コンジローマなどの原因となるものです。

【定期接種】(無料)

◆対象者

小学校6年生から高校1年生相当年齢の女性

◆接種期間

高校1年生相当年齢まで
(標準的な接種期間は中学1年生の間)

※平成19年度生まれの方は、高校1年生相当年齢を超えても、令和7年3月31日まで接種できます。

※定期接種、キャッチアップ接種ともに、子宮頸がん予防ワクチンの接種を3回完了していない方が対象です。
※早い年齢で接種するほど子宮頸がんの予防効果が高いとされています。

【キャッチアップ接種】(無料)

積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方へ、改めて接種の機会を提供します。

◆対象者

平成9年度~平成18年度生まれの女性

◆接種期間

令和7年3月31日まで

予診票の配布方法

接種の対象者には、4月上旬にワクチンの希望調査書をお送りしています。

接種希望の方の 申請方法

- 郵送 健康管理課へ希望調査書を郵送 ⇒ 後日、予診票を郵送
- 窓 健康管理課へ母子健康手帳と希望調査書を持参 ⇒ その場で予診票を配布

ワクチンを自費で接種した方

平成9年4月2日から平成17年4月1日生まれの女性の方で、高校2年生から令和4年3月31日までに国内の医療機関でサーバリックス、ガーダシルを自費で接種した方は費用の助成があります。

詳しくは、健康管理課までお問い合わせください。

問合せ 〒297-8511 茂原市道表1 健康管理課(2階)
☎(20)1574 FAX(20)1600